

行政評価シート(事後評価)

コード (22) 4-2-3	事務事業名 農業団体等への補助(農業振興事業)	所管部課 生活環境部産業振興課(旧市民生活部産業振興課)
-------------------	----------------------------	---------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等	
	市内の農業団体等が農業の発展と向上に寄与するために行う事業に対して、予算の範囲内において補助金を交付することにより、その事業を促進することを目的とし、企業の農業経営、農業後継者の指導・育成、品種の改良・新種の導入、栽培技術の向上及び情報交換に関する事業について、経費の一部を補助する。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等			
	田無農友会...農業経営上における、視察研究及び発表会等の開催。 田無緑化組合...植木、苗木、芝、花卉の共同購入と共同販売とこれらの指導並びに情報交換など。 東京みらい農協保谷地区そ菜出荷組合...東京みらい農協との特定野菜の出荷契約の締結と指定市場への出荷。販路調査と情報の提供。生産出荷資材の共同購入。栽培品種と栽培技術の研究改善。 西東京市梨生産組合...各種資材の共同購入。技術導入を図るための講習会の開催。産地育成の技術指導。栽培知識向上のための先進地視察。「保谷梨」のブランド化事業推進。 東京みらい農協保谷地区施設部会...施設利用による栽培の促進。栽培品種と栽培技術の研究改善。野菜販路の確保と経営の安定化。 JA東京みらい西東京地区青壮年部...部員相互の技術交換。都市農業、農家経営等の調査研究。「ちびっこ農業教室」の開催。			
事業開始時期	合併前から	年度	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	事業費(A)			1,490	1,284	1,080
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
	内その他 ( )					
	一般財源		1,490	1,284	1,080	1,080
所要人員(B)	人	0.09	0.09	0.09	0.09	
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	750	737	734	734	
臨時職員等賃金(C')	千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	2,240	2,021	1,814	1,814	
単位当たりコスト (E)=(D)/( 補助団体数 )	千円	280	289	302	302	

評価指標の設定	活動等指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	補助団体数	実績値	団体	8	7	6	6
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など) 平成17年度に1団体(12名)、平成18年度に1団体(89名)が活動休止のため、補助金が減となる。							
評価指標の設定	成果指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	一次 対象事業数	目標値					
		実績値	団体	13	13	11	
	二次 生産高	目標値					
実績値							
(指標の説明・数値変化の理由 など) 出荷額や生産高が伸びれば、市としては事業の目的が達成されたと考えられるが、今現在はそのようなデータがないため、今後の課題としたい。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

多摩26市のうち19市が、市内農業団体に対して補助金を交付しており、その平均交付額は平成17年度で1,251千円である。

コード (22) 4-2-3	事務事業名 農業団体等への補助(農業振興事業)	所管部課 生活環境部産業振興課(旧市民生活部産業振興課)
-------------------	----------------------------	---------------------------------

### 【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>市としては、より質の高い効果を求める必要があるため、事業費を「一括り」と考えるのではなく、「個別事業単位」に考えて行く方が良い。なお、個人単位での補助は「申請」「交付決定」「請求」「支払」「実績報告」「額の確定」と複雑なため、団体単位に補助するのが適正と思われる。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

### 【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>さまざまな農業振興メニューを補助の対象としているものの、生産高の向上、ブランドの確立といった効果が見えず、補助対象団体数も減少している。また、旧市の団体ごとに補助金額が異なるといった課題も見受けられる。 例えば企画提案型の補助制度に移行しやる気を引き出す工夫など、休止・廃止も視野に、制度を抜本的に見直す必要がある。なお、補助対象事業の内容がやや異なるが、「魅力ある農業経営育成事業補助金」など、都制度を活用した補助制度への移行も視野に、時代にマッチした補助制度となるよう検討を図られたい。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	1			
市民ニーズの把握	1			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本補助については、二次評価記載のとおり、制度上の課題が見受けられる。 本補助は、交付対象事業の範囲が広く、実質的な運営費補助となっており、今後は補助率の設定や補助対象事業の限定等について検討し、効果的な制度となるよう、抜本的に見直す必要がある。</p>